

令和5年2月19日（日）施行

第209回 全経簿記能力検定試験 2級 工業簿記 解答

第1問

1	間接労務費	2	間接材料費	3	間 接 経 費
4	直接労務費	5	直接材料費		

第2問

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	材 料	880,000	買 掛 金 現 金	850,000 30,000
2	仕 掛 品 製 造 間 接 費	450,000 10,000	材 料	460,000
3	仕 掛 品 製 造 間 接 費	274,500 19,800	賃 金	294,300
4	仕 掛 品	520,000	製 造 間 接 費	520,000
5	製 品	1,350,000	仕 掛 品	1,350,000
6	売 掛 金 売 上 原 価	2,000,000 1,600,000	売 上 製 品	2,000,000 1,600,000

第3問

直接材料費

月初仕掛品	？枚	¥	12,990	当月完成品	3,380枚	(¥	427,570)
当月投入	？枚	¥	429,760	月末仕掛品	？枚	(¥	15,180)

加工費

月初仕掛品	？枚	¥	20,610	当月完成品	3,380枚	(¥	1,732,250)
当月投入	？枚	¥	1,742,390	月末仕掛品	？枚	(¥	30,750)

第4問

①	ウ	②	オ	③	イ	④	ア	⑤	エ
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

第5問

原価計算表

(単位：円)

指図書 摘要	#80	#81	#82	合計
月初仕掛品原価	(737,840)	—	—	(737,840)
直接材料費	(62,500)	(389,000)	(479,700)	(931,200)
直接労務費	(109,200)	(309,400)	(81,900)	500,500
製造間接費	(159,000)	(450,500)	(119,250)	728,750
合計	(1,068,540)	(1,148,900)	(680,850)	(2,898,290)
備考	完成	完成	仕掛中	

令和 5 年 2 月 19 日（日）施行

第 209 回 全経簿記能力検定試験 2 級 工業簿記 解説

第 1 問

1. 製品の組立工が部品の運搬作業に従事した時間に対する賃金消費額は、製品の製造に直接携わっていない賃金となるため、間接労務費となる。
2. 製品の塗装工が塗装作業に用いた刷毛の消費額は、工場消耗品費の分類となり、間接材料費となる。
3. 製品の切削工が切削作業に用いる機械の修繕費は、製品の製造に直接かかる経費ではないため、間接経費となる。
4. 製品の塗装工が特定の製品に対する塗装作業のために残業したさいに発生した時間外作業手当は、製品の塗装作業に直接携わっている賃金となるため、直接労務費となる。
5. 製品の組立工が製品に組み入れたガラス戸（外部から購入）の消費額は、外部から購入し製品に直接組み入れるための買入部品費となるため、直接材料費となる。

第 2 問

1. 素材 1,000 本を ¥850,000 で購入した場合は、材料勘定の増加として処理をする。
代金 ¥850,000 は、翌月末に支払うこととしているので、買掛金勘定の増加として処理をする。
引取費用 ¥30,000 は、現金で支払ったので現金勘定の減少として処理をするとともに、素材を購入するまでに要した付随費用であり購入原価に含めるため、材料勘定の増加として処理をする。

$$\begin{aligned} \text{素材の購入原価} &= \text{購入代価} + \text{付随費用} \\ &= ¥850,000 + ¥30,000 \\ &= ¥880,000 \end{aligned}$$
2. 製品を製造するために、素材 ¥450,000 と組立用ネジ ¥10,000 を出庫した場合は、材料を消費したので材料勘定の減少として処理をする。
消費した材料のうち素材は主要材料であり、直接材料費となるため仕掛品勘定へ振替える。
消費した材料のうち組立用ネジは補助材料であり、間接材料費となるため製造間接費勘定へ振替える。

$$\begin{aligned} \text{素材 ¥450,000} &\rightarrow \text{仕掛品勘定へ} \\ \text{組立用ネジ ¥10,000} &\rightarrow \text{製造間接費勘定へ} \end{aligned}$$
3. 当月の加工作業に要した 300 時間と段取作業に要した 5 時間は、直接作業時間分の賃金消費額となるため、直接労務費となり、賃金勘定から仕掛品勘定へ振替える。
間接作業に要した 20 時間と手待時間 2 時間は、間接作業時間分の賃金消費額となるため、間接労務費となり、賃金勘定から製造間接費勘定へ振替える。

$$\begin{aligned} \text{加工作業に要した 300 時間} \times \text{実際消費賃率 ¥900/時間} &= ¥270,000 \rightarrow \text{仕掛品勘定へ} \\ \text{段取作業に要した 5 時間} \times \text{実際消費賃率 ¥900/時間} &= ¥4,500 \rightarrow \text{仕掛品勘定へ} \\ \text{間接作業に要した 20 時間} \times \text{実際消費賃率 ¥900/時間} &= ¥18,000 \rightarrow \text{製造間接費勘定へ} \\ \text{手待時間 2 時間} \times \text{実際消費賃率 ¥900/時間} &= ¥1,800 \rightarrow \text{製造間接費勘定へ} \end{aligned}$$

4. 当月の製造間接費実際発生額¥520,000 を製品へ配賦した場合は、製造間接費勘定から仕掛品勘定へ振替える。
5. 製品（製造原価¥1,350,000）が完成し、倉庫に納入した場合は、仕掛品勘定から製品勘定へ振替える。
6. 製品を顧客に引き渡した場合は、製品勘定から売上原価勘定へ振替える。（売上原価対立法による記帳）
 製品は、製造原価の25%増で販売しているので、
 製造原価＝¥2,000,000 ÷ 1.25
 ＝¥1,600,000
 代金¥2,000,000 は翌月10日に受け取ることとしたので、売掛金勘定と売上勘定を用いて処理をする。

第3問

月末仕掛品原価と当月完成品原価を求める。

材料はすべて工程の始点で投入 月末仕掛品の評価は平均法

仕 掛 品 (直接材料費)	
月初仕掛品 ¥ 12,990	当月完成品
当月投入 ¥ 429,760	月末仕掛品

3,380 枚

120 枚

月末仕掛品原価： $(¥12,990 + ¥429,760) \div (3,380 \text{ 枚} + 120 \text{ 枚}) \times 120 \text{ 枚} = ¥15,180$
 当月完成品原価： $(¥12,990 + ¥429,760) \div (3,380 \text{ 枚} + 120 \text{ 枚}) \times 3,380 \text{ 枚} = ¥427,570$

仕 掛 品 (加 工 費)	
月初仕掛品 ¥ 20,610	当月完成品
当月投入 ¥1,742,390	月末仕掛品

3,380 枚

60 枚
120 枚 × 50% = 60 枚として計算

月末仕掛品原価： $(¥20,610 + ¥1,742,390) \div (3,380 \text{ 枚} + 60 \text{ 枚}) \times 60 \text{ 枚} = ¥30,750$
 当月完成品原価： $(¥20,610 + ¥1,742,390) \div (3,380 \text{ 枚} + 60 \text{ 枚}) \times 3,380 \text{ 枚} = ¥1,732,250$

第4問

ア. 当月に完成となった製品の原価

→ 仕掛品勘定から製品勘定への振替えをあらわす。

イ. 当月に発生した棚卸減耗費

→ 間接経費となり、経費勘定から製造間接費勘定への振替えをあらわす。

ウ. 当月に消費した消耗工具器具備品の金額

→ 間接材料費となり、材料勘定から製造間接費勘定への振替えをあらわす。

エ. 当月に販売した製品の原価

→ 製品勘定から売上原価勘定への振替えをあらわす。

オ. 当月に製造用機械の段取りに従事した直接工の賃金消費額

→ 直接労務費となり、賃金勘定から仕掛品勘定への振替えをあらわす。

① 材料勘定から製造間接費勘定への振替えをあらわしている。

これは、材料消費額のうち、間接材料費を意味している。よって、当月に消費した消耗工具器具備品の金額をあらわしていることになるため、 **ウ** となる。

(借) 製造間接費	(貸) 材料
-----------	--------

② 賃金勘定から仕掛品勘定への振替えをあらわしている。

これは、賃金消費額のうち、直接労務費を意味している。よって、当月に製造用機械の段取りに従事した直接工の賃金消費額をあらわしていることになるため、 **オ** となる。

(借) 仕掛品	(貸) 賃金
---------	--------

③ 経費勘定から製造間接費勘定への振替えをあらわしている。

これは、間接経費を意味している。よって、当月に発生した棚卸減耗費をあらわしていることになるため、 **イ** となる。

(借) 製造間接費	(貸) 経費
-----------	--------

④ 仕掛品勘定から製品勘定への振替えをあらわしている。

これは、仕掛品勘定から製品勘定へ振り替えているため、製品の完成を意味している。よって、当月に完成となった製品の原価をあらわしていることになるため、 **ア** となる。

(借) 製品	(貸) 仕掛品
--------	---------

⑤ 製品勘定から売上原価勘定への振替えをあらわしている。

これは、製品の販売時に、製品の原価を売上原価勘定に振替えたことを意味している。よって、当月に販売した製品の原価をあらわしていることになるため、 **エ** となる。

(借) 売上原価	(貸) 製品
----------	--------

第5問

材 料 元 帳

(先入先出法)

N材料

(単位：円)

日 付	摘 要	受 入			払 出			残 高		
		数量	単価	金 額	数量	単価	金 額	数量	単価	金 額
11	1 前月繰越	(30)	2,500	(75,000)				(30)	2,500	(75,000)
	2 出庫(#80)				25	(2,500)	(62,500)	(5)	(2,500)	(12,500)
	6 仕 入	200	2,510	502,000				(5)	(2,500)	(12,500)
								200	2,510	502,000
	8 出庫(#81)				(5)	(2,500)	(12,500)			
					150	2,510	376,500	50	2,510	125,500
	21 仕 入	180	2,530	455,400				50	2,510	125,500
								180	2,530	455,400
	22 出庫(#82)				50	2,510	125,500			
					140	2,530	354,200	40	2,530	101,200
	30 次月繰越				40	2,530	101,200			
		(410)		(1,032,400)	(410)		(1,032,400)			

製造指図書 #80 <10月24日(前月)より製造着手 当月完成>

月初仕掛品原価 問題文2. 当月の月初有高より 仕掛品(#80): ¥737,840

直接材料費 問題文4. 当月の材料元帳より 11月2日出庫 ¥62,500

直接労務費 解答用紙原価計算表・直接労務費合計¥500,500と問題文5. 直接作業時間より

$$¥500,500 \div (120時間 + 340時間 + 90時間) \times 120時間 = \underline{¥109,200}$$

製造間接費 解答用紙原価計算表・製造間接費合計¥728,750と問題文5. 6. 直接作業時間を基準により

$$¥728,750 \div (120時間 + 340時間 + 90時間) \times 120時間 = \underline{¥159,000}$$

合 計 ¥737,840 + ¥62,500 + ¥109,200 + ¥159,000 = ¥1,068,540 → 完成

製造指図書 #81 <11月8日(当月)より製造着手 当月完成>

直接材料費 問題文4. 当月の材料元帳より 11月8日出庫 ¥12,500 + ¥376,500 = ¥389,000

直接労務費 解答用紙原価計算表・直接労務費合計¥500,500と問題文5. 直接作業時間より

$$¥500,500 \div (120時間 + 340時間 + 90時間) \times 340時間 = \underline{¥309,400}$$

製造間接費 解答用紙原価計算表・製造間接費合計¥728,750と問題文5. 6. 直接作業時間を基準により

$$¥728,750 \div (120時間 + 340時間 + 90時間) \times 340時間 = \underline{¥450,500}$$

合 計 ¥389,000 + ¥309,400 + ¥450,500 = ¥1,148,900 → 完成

製造指図書 #82 <11月22日(当月)より製造着手 当月仕掛中>

直接材料費 問題文4. 当月の材料元帳より 11月22日出庫 ¥125,500 + ¥354,200 = ¥479,700

直接労務費 解答用紙原価計算表・直接労務費合計¥500,500と問題文5. 直接作業時間より

$$¥500,500 \div (120時間 + 340時間 + 90時間) \times 90時間 = \underline{¥81,900}$$

製造間接費 解答用紙原価計算表・製造間接費合計¥728,750と問題文5. 6. 直接作業時間を基準により

$$¥728,750 \div (120時間 + 340時間 + 90時間) \times 90時間 = \underline{¥119,250}$$

合 計 ¥479,700 + ¥81,900 + ¥119,250 = ¥680,850 → 仕掛中